



平成 29 年 12 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 29 年 4 月 28 日

上場会社名 株式会社ペッパーフードサービス 上場取引所 東
 コード番号 3053 URL <http://www.pepper-fs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 一瀬 邦夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務人事本部長 (氏名) 猿山 博人 (TEL) 03 (3829) 3210
 四半期報告書提出予定日 平成 29 年 4 月 28 日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 29 年 12 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 12 月期第 1 四半期	7,029	—	576	—	574	—	361	—
28 年 12 月期第 1 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29 年 12 月期第 1 四半期 361 百万円 (—%) 28 年 12 月期第 1 四半期 ー百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29 年 12 月期第 1 四半期	36	51	35	71
28 年 12 月期第 1 四半期	—	—	—	—

(注) 平成 29 年 12 月期第 1 四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成 29 年 12 月期第 1 四半期の数値及びこれに係る対前年同期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
29 年 12 月期第 1 四半期	9,681		3,084		31.8	
28 年 12 月期	9,198		2,777		30.1	

(参考) 自己資本 29 年 12 月期第 1 四半期 3,081 百万円 28 年 12 月期 2,771 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28 年 12 月期	—	10.00	—	10.00	20.00	—
29 年 12 月期	—	—	—	—	—	—
29 年 12 月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成 29 年 12 月期の連結業績予想 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第 2 四半期 (累計)	13,505	—	737	—	731	—	424	—	42	73
通期	28,673	28.4	1,373	43.3	1,344	38.1	760	32.9	76	56

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

※平成 29 年 12 月期第 1 四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成 29 年 12 月期第 2 四半期 (累計) の対同年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
 ④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期1Q	9,930,700株	28年12月期	9,859,600株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	110株	28年12月期	63株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期1Q	9,889,010株	28年12月期1Q	9,759,092株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第33期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策により、企業収益や雇用改善などを背景として緩やかな景気回復基調で推移いたしました。米国経済の動向やアジア新興国・欧州経済の動向など、世界経済の不確実性の高まりにより、先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、労働需給バランスの悪化などにより、引き続き人手不足の影響による人件費の増加や、他業種とのお客様獲得競争も激化しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした状況のもと、当社グループは「時代を先取り、変化対応と基本の徹底」を基本方針として、年間60店舗出店を目標にペッパーランチ業態及びいきなり!ステーキ業態の出店拡大に取り組むと共に、引き続きお客様への安心・安全な商品提供ができる体制強化に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は7,029百万円、営業利益は576百万円、経常利益は574百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は361百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①ペッパーランチ事業

ペッパーランチ事業につきましては、年間20店舗出店を目標にスタートが切られ、2月にはF Cショーへ出展(2月1日～2月3日)し、加盟の促進を図ってまいりました。国内のペッパーランチは、平成24年11月から平成29年3月末まで53ヵ月連続で、既存店昨年対比100%超えを達成しております。

海外におけるペッパーランチ事業では、各店舗の売上は、引き続き好調に推移しており、新規出店に伴う機器等の売却、ロイヤリティ収入などの売上高は74百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,613百万円、セグメント利益297百万円となりました。また、新規出店数は19店舗(うち海外12店舗)であり、ペッパーランチ事業全体の店舗数は415店舗となりました。

②レストラン事業

レストラン事業につきましては、既存店の売上高並びに利益の向上に努めてまいりました。また、ステーキ業態「炭焼ステーキくに」では、赤坂店、両国店において月1回の「美味しいステーキを楽しく食べる夕べ」異業種交流会を継続的に開催し、ブランドイメージの向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は544百万円、セグメント利益は39百万円となりました。また、レストラン事業全体の店舗数は24店舗となりました。

③いきなり!ステーキ事業

いきなり!ステーキ事業につきましては、年間40店舗出店を目標にスタートが切られ、2月には、熊本地震発生以来(平成28年4月14日)、営業停止となっておりました「いきなり!ステーキ阿蘇くまもと空港店」の営業を再開しました。また、いきなり!ステーキ海外初となる「IKINARI STEAK EAST VILLAGE店」をニューヨーク市内に出店(2月23日)し、その出店記念として、国内ではステーキ祭り(2月13日～2月15日)や、スタンプキャンペーン(2月10日～3月9日)を開催しました。

肉マイレージランキングアプリには、世界ランキング機能を追加し、今後の世界展開のベースを作りました。また、映画「宇宙戦艦ヤマト2202 愛の戦士たち」とのコラボキャンペーン(3月10日～4月6日)を開催し、「いきなり!ステーキ池袋南口店」限定で宇宙戦艦ヤマトの店内装飾を実施しました。

3月1日より、昨年10月に円高還元として値下げしていた主力3商品を、円安への転換を受けてもとの価格に戻しましたが、いきなりステーキの象徴ともいえる「リブローズ」は、値下げ価格を維持いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,857百万円、セグメント利益は549百万円となりました。新規出店数は5店舗であり、いきなり!ステーキ事業全体の店舗数は120店舗となりました。

④商品販売事業

商品販売事業につきましては、「とんかつソース」、「冷凍ペッパーライス」及び「冷凍ハンバーグ」に加え、家庭でも味わえる「いきなり!ステーキセット」のネット販売も開始し好調に推移しております。また、昨年12月に実施した、ミニストップ株式会社とのタイアップによる「いきなりステーキ弁当5種発売」に続き、第2弾として日本水産株式会社とのタイアップによる「ビーフガーリックピラフ」を3月1日より全国のスーパーマーケット等にて発売し、売上向上並びにお客様の獲得を目指してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は14百万円、セグメント損失は0百万円となりました。

(2) 財政状態に関する分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて482百万円増加し9,681百万円になりました。これは主に、現金及び預金が540百万円増加したこと、売掛金が31百万円増加したこと、未収入金(その他・流動資産)が261百万円減少したこと、建物及び構築物(純額)が137百万円増加したこと並びに敷金及び保証金が54百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて175百万円増加し、6,596百万円となりました。これは主に未払金が54百万円増加したこと及び借入金が124百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて307百万円増加し、3,084百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を361百万円計上したこと及び配当により、剰余金を98百万円処分したことにより利益剰余金が262百万円増加したこと、新株予約権の行使に伴い資本金、資本準備金がそれぞれ23百万円増加したことによるものです。また、自己資本比率は前連結会計年度末から1.7ポイント増加し、31.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当四半期連結累計期間において、ペッパーランチ業態及びいきなり!ステーキ業態の店舗売上高及び利益が、当初予想を大幅に上回る見通しであることから、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成29年4月28日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,374,550	2,914,863
売掛金	972,177	1,003,981
商品	144,141	140,300
貯蔵品	31,092	28,893
繰延税金資産	52,030	53,399
その他	810,592	557,980
貸倒引当金	△551	△554
流動資産合計	4,384,034	4,698,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,364,310	3,584,888
減価償却累計額	△718,920	△802,058
建物及び構築物（純額）	2,645,390	2,782,830
その他	1,113,585	1,096,777
減価償却累計額	△594,054	△627,369
その他（純額）	519,530	469,407
有形固定資産合計	3,164,921	3,252,238
無形固定資産	84,023	84,503
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,372,239	1,426,862
その他	204,959	230,474
貸倒引当金	△11,590	△11,586
投資その他の資産合計	1,565,608	1,645,750
固定資産合計	4,814,553	4,982,492
資産合計	9,198,588	9,681,356

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,532,645	2,517,506
短期借入金	45,000	22,500
1年内返済予定の長期借入金	707,159	748,354
未払金	501,515	555,835
未払法人税等	437,513	267,280
役員賞与引当金	21,800	—
賞与引当金	—	35,499
資産除去債務	1,999	7,072
その他	826,913	936,341
流動負債合計	5,074,547	5,090,389
固定負債		
長期借入金	676,816	782,328
受入保証金	489,981	534,523
資産除去債務	174,003	184,341
その他	5,659	4,986
固定負債合計	1,346,460	1,506,178
負債合計	6,421,007	6,596,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,281,981	1,305,528
資本剰余金	562,494	586,041
利益剰余金	920,483	1,182,911
自己株式	△62	△129
株主資本合計	2,764,896	3,074,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,665	△1,850
為替換算調整勘定	9,183	8,682
その他の包括利益累計額合計	6,517	6,831
新株予約権	6,166	3,604
純資産合計	2,777,580	3,084,788
負債純資産合計	9,198,588	9,681,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	7,029,613
売上原価	3,822,027
売上総利益	3,207,585
販売費及び一般管理費	2,631,550
営業利益	576,035
営業外収益	
受取利息	36
協賛金収入	3,532
カード退蔵益	6,570
その他	2,695
営業外収益合計	12,835
営業外費用	
支払利息	2,699
為替差損	5,313
賃貸借契約解約損	2,979
その他	3,355
営業外費用合計	14,346
経常利益	574,523
特別利益	
固定資産売却益	957
新株予約権戻入益	2,403
特別利益合計	3,360
特別損失	
固定資産除却損	42
特別損失合計	42
税金等調整前四半期純利益	577,841
法人税、住民税及び事業税	238,949
法人税等調整額	△22,130
法人税等合計	216,818
四半期純利益	361,022
親会社株主に帰属する四半期純利益	361,022

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	361,022
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	815
為替換算調整勘定	△501
その他の包括利益合計	314
四半期包括利益	361,337
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	361,337

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年3月29日 定時株主総会	普通株式	98,595	10.00	平成28年12月31日	平成29年3月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ペッパー ランチ事業	レストラン 事業	いきなり! ステーキ事業	商品販売事業			
売上高 外部顧客へ の売上高	1,613,636	544,008	4,857,225	14,743	7,029,613	—	7,029,613
計	1,613,636	544,008	4,857,225	14,743	7,029,613	—	7,029,613
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	297,093	39,205	549,407	△261	885,444	△309,409	576,035

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△309,409千円は、各報告セグメントに配分していない
全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。